



八十二銀行

2021  
八十二レポート

営業のご報告



The Hachijuni Bank, LTD.

菜の花公園の  
ヒマワリ畑(飯山市)

# ごあいさつ



取締役会長 湯本 昭一



取締役頭取 松下 正樹



平素より八十二銀行をご利用、お引立ていただき、誠にありがとうございます。  
 当行は1931年(昭和6年)の創立以来、地域の金融機関として地域経済の発展とともに成長し、今日の基盤を築き上げてまいりました。これもひとえにお客さまや株主の皆様、そして地域の皆様の永年にわたるご支援の賜物と深く感謝しております。

当行についてのご理解をより一層深めていただくとともに、2021年3月期の業績、営業内容をわかりやすくご案内するため「八十二レポート2021」を作成しました。皆様のご参考になれば幸いです。

2020年度のわが国経済は、中国を中心とする海外経済の立ち直りにより製造業では年度後半に回復が顕著となった一方で、非製造業では飲食・交通・観光分野を中心に厳しい状況が続きました。

このような経済環境の下、お客さまへの金融支援に全力で取り組み、2020年度期末における融資残高および預金残高は、ともに過去最高を更新することができました。また、2020年度末をもって3か年の計画期間を終了した第31次長期経営計画『変化に挑み、次代を創る』につきましては、コロナ禍によって経営環境が激変したこともあり、全ての計画目標を達成することはできませんでしたが、経費削減においては着実な成果を残すことができました。時代が大きく変化しつつある現況下、地域の経済活動に活力を取り戻す原動力となり、地域の皆様の豊かな日常を支え続けるべく、役職員一丸となって努力を続けてまいります。

当行は本年8月に創立90周年の節目を迎えます。これまで皆様とともに歩み、地域経済を守り続けてきた矜持を胸に、長野県の銀行として変わることのない使命を果たしてまいります所存です。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

## Profile

名称	株式会社八十二銀行	従業員数	3,159人
本店所在地	〒380-8682 長野市大字中御所字岡田178番地8	資本金	522億円
電話番号	026(227)1182	発行済株式数	511,103千株
創立	1931年8月1日	総資産	12兆750億円
拠点	国内 151店舗 本支店142(長野県内122) 出張所 9(長野県内 9) 店舗外現金自動設備 227ヵ所 海外 支店1(香港) 駐在員事務所 3 (上海、バンコク、シンガポール)	純資産	8,328億円
		預金残高	7兆6,707億円
		貸出金残高	5兆5,875億円
		総自己資本比率 (国際統一基準)	連結 20.69% 単体 19.30%
			(2021年3月31日現在)

## Contents

- ごあいさつ ①
- SDGsの取組み ②
- 90年の軌跡 ③
- 法人のお客さまへ ⑤
- 個人のお客さまへ ⑦
- 業績ハイライト ⑨
- 経営の健全性 ⑪
- 営業拠点のご案内 ⑫
- 連結決算の状況 ⑬
- 単体決算の状況 ⑭
- 株式のご案内 ⑮

注：本誌に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。

The Hachijuni Bank, LTD.

# SDGsの取組み

当行は、「健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する」を経営理念に掲げ、役職員一人ひとりがお客さま・地域社会の発展に貢献し、企業の社会的責任を果たしていくことが使命であると考えています。主体的に地域の課題解決に取り組み、SDGsが目指す持続可能な社会の実現に努めていきます。

## 「CDP2020(気候変動)」A-評価を獲得



世界の主要企業の地球温暖化問題への対応状況を評価する「CDP2020(気候変動)」において、2019年までの「B」評価から1ランク上がり、国内銀行界単独トップとなる「A-」評価を受けました。温室効果ガス排出量の削減目標の進捗が良好であること等が評価された今回の「A-」評価は、企業の気候変動対策におけるリーダーシップレベルです。

なお、当行は今回の評価結果により、5年連続して国内銀行界第1位となりました。

## 金融経済教育



地域貢献の一環として、高校生が経済や金融に関する知識を競う「エコノミクス甲子園」長野大会の開催や、小・中・高等学校の児童・生徒の職業体験の受け入れなど、多角的に金融経済教育に取り組んでいます。

職業体験では、紙幣の数え方などの実習のほか、金融経済の仕組みや銀行の社会的役割についての講義を行い、次世代を担う子ども達の金融リテラシー向上に努めています。

## 八十二「地方創生・SDGs応援私募債(地域活性化型)」の寄付対象追加

八十二「地方創生・SDGs応援私募債(地域活性化型)」は、2019年11月から取扱いを開始し、私募債発行に際して当行が発行企業さまから受け取る諸費用の一部を優遇し、発行企業さまの地域支援(優遇分による寄付)に役立てていただいています。

2020年度は、これまでの【教育口】・【福祉口】・【スポーツ振興口】からなる寄付対象に、【医療口】・【環境口】・【災害復興口】を新たに追加しました。

2020年度 引受実績 128件/100億円



# 90年の軌跡 これまでも、これからも、ずっと。



1877(明治10年)  
前身銀行 第十九国立銀行設立



1878(明治11年)  
前身銀行 第六十三国立銀行設立

1931(昭和6)年8月1日  
第十九銀行と六十三銀行が合併し、  
八十二銀行として設立



1969(昭和44年)  
本店を現在地に竣工

1964(昭和39年)  
長野県指定金融機関に指定

1971(昭和46年)  
■総合オンライン稼働  
■東証第2部へ上場

1972(昭和47年)  
東証第1部へ移行

1974(昭和49年)  
八十二リース株式会社設立

1978(昭和53年)  
事務センタービルを竣工

1981(昭和56年)  
八十二ビジネスサービス株式会社設立

1982(昭和57年)  
株式会社八十二ディーシーカード設立(現社名 株式会社八十二カード)

1983(昭和58年)  
八十二信用保証株式会社設立/八十二システム開発株式会社設立

1984(昭和59年)  
財団法人長野経済研究所設立/八十二キャピタル株式会社設立

1985(昭和60年)  
財団法人八十二文化財団設立

1986(昭和61年)  
香港駐在員事務所開設/八十二スタッフサービス株式会社設立

1988(昭和63年) 本店別館を竣工

## ■ 経営理念

健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する

1989(平成元年)  
新総合オンラインシステム稼働



1991(平成3年)  
■香港支店開設  
■古紙の回収・再生・利用の  
一貫システムを構築  
【銀行界初】  
■ロゴマーク・行名ロゴ一新

1998(平成10年)  
長野オリンピック冬季競技大会のゴールドスポンサー/オフィシャルバンク

2000(平成12年) やまびこ債権回収株式会社設立

2001(平成13年) 「じゅうだん会」共同版システム開発着手

2002(平成14年) ISO14001認証を国内全部店に拡大

2005(平成17年) 八十二オートリース株式会社設立

2006(平成18年) 八十二証券株式会社の完全子会社化  
(旧社名アルプス証券株式会社)

2007(平成19年) バンコク駐在員事務所開設

2008(平成20年) クレジットカードの銀行本体発行を開始

2009(平成21年) 「八十二の森」活動開始

2014(平成26年) 新研修所を竣工

1992(平成4年)  
CD/ATMジャーナル紙に  
再生紙を使用【金融界初】

1997(平成9年)  
シンガポール駐在員事務所  
開設

1999(平成11年)  
インターネットバンキング  
取扱開始

2017(平成29年)  
内閣府から地方創生貢献で表彰【民間金融機関初】

2018(平成30年)  
八十二ビジネスサービス株式会社を吸収合併



2020(令和2年)  
■TCFD(気候関連財務情報  
開示タスクフォース)提言  
に賛同  
■CDP2020(気候変動)  
「A-」評価  
【5年連続国内銀行界第1位】

2021(令和3)年8月1日 創立90周年



これからも地域とともに  
成長していく意志と、さら  
なる発展への願いを込め  
たロゴマークです。

◆ ロゴマーク: HIACT-Square (ハイアクト・スクエア)

「82」が4つのスクエア(正方形)でシンボル化されたロゴ  
マークは、「HIACT(ハイアクト)」と名づけられています。  
正方形のほかに「正々堂々」「広場」「交差点」という意味を持  
つ「Square(スクエア)」には、「お客さまが集う広場、お客さま  
と出会う交差点」でありたいという願いが込められています。



Heart ..... 心を込めて、燃える心  
I nnovation 先進性、革新性  
A ctive ..... 積極性、行動力  
C reative ..... 創造性  
T hink ..... 柔軟な発想

# 法人のお客さまへ

## 創業・開業期

### 起業・創業支援

起業・創業に関心のあるお客さまをワンストップかつスピーディーに支援しています。

「第9回ベンチャーサミット」の開催により長野県内の創業機運を醸成するとともに、当行ホームページをリニューアルし、創業に関する情報の充実を図りました。今後も、長野県内での創業を希望するお客さまを幅広くサポートしていきます。



起業・創業支援先数 359先 (2020年度)

## 成長・安定・成熟期

### 地域産業成長支援

ビジネスマッチング、商談会等を通じ、お客さまの販路拡大や新事業展開、経営の効率化を支援しています。

コロナ禍への対応としては、ウィズコロナ/アフターコロナを見据えた新たな事業展開支援を目的としてオンラインセミナーを開催しました。また、「企業支援制度活用サポートチーム」を新設し、お客さまの補助金等の活用をサポートしています。



ビジネスマッチング成約件数 3,573件 (2020年度)

事業者さまの経営パートナーとして、さまざまな成長ステージに合わせた経営課題解決のお手伝いをしています。地域の活力創造を目指し、お客さまの事業をサポートしていきます。

## 経営改善・事業再生期

### 経営改善・事業再生支援

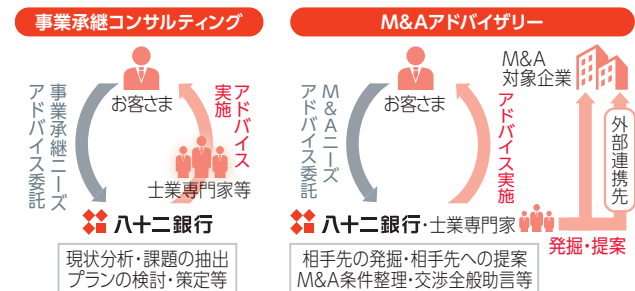
コロナ禍で事業に影響を受けているお客さまに対して、営業店と本部が一体となり、資金繰り支援策の策定と実行や公的制度の活用など積極的にアドバイスしています。

今後、経営改善・事業再生支援を必要とされるお客さまの増加も想定され、当行グループ会社および外部連携機関との幅広いネットワークを活用し、お客さまの経営支援、経営課題の解決に全力で取り組んでいきます。



### 事業承継・M&A

後継者への円滑な自社株式の承継や、戦略的な事業の選択と集中など、一段と高まるM&Aと事業承継ニーズにお応えするため、専門的なサポートチームがワンストップでお客さまの課題解決をお手伝いしています。



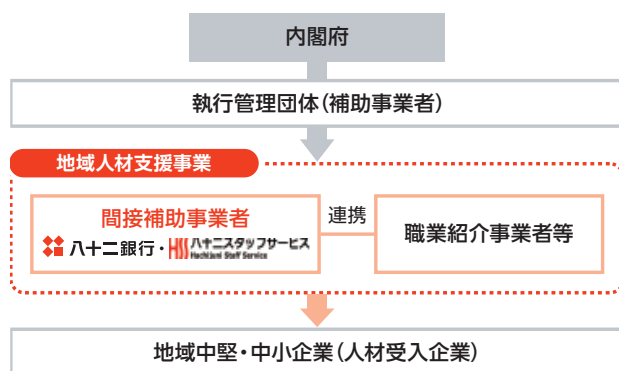
## ～多面的に事業成長をサポート～

### 経営人材紹介による課題解決提案

専門的なスキルや豊富な経験を有する人材を紹介することによって、事業者さまが抱える経営課題の解決をサポートする「人材紹介業務」の機能強化に取り組んでいます。内閣府「先導的人材マッチング事業」において、当行および八十二スタッフサービスは人材マッチングとマッチング後のフォローアップを担う間接補助事業者に採択され、経営人材等の紹介を通じた事業成長をサポートしました。

令和元年度 先導的人材マッチング事業  
支援社数：12社

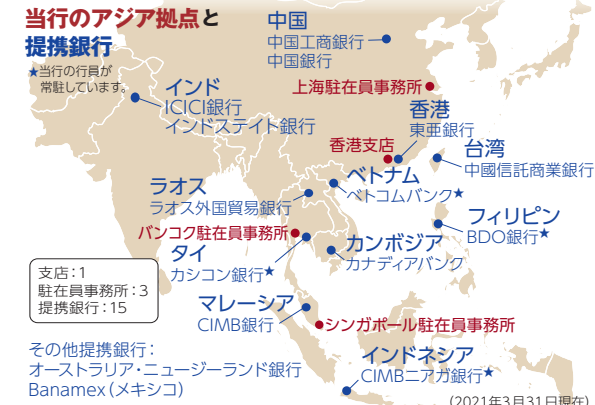
■事業の体制(イメージ)：内閣府「先導的人材マッチング事業」



### 海外ビジネスのサポート

貿易実務のアドバイスから為替リスクヘッジや海外進出のご相談まで、地銀有数の海外拠点網とネットワークを活用し、お客さまの海外ビジネスをサポートします。

国内の支店および香港支店では、お客さまの海外現地法人に向けた直接融資(クロスボーダー融資)にも対応しています。



# 個人のお客さまへ

## かりる

### 住宅ローン向け疾病保障付団信

2020年11月から、保障範囲を拡充し、「上皮内ガン・皮膚ガン」および「ガン先進医療」特約を追加しました。

併せて、ご自宅などから簡単にウェブ上でお申込みいただける「カーディフ団信オンライン」も導入しました。団信の加入可否をスピーディにご確認でき、安心して住宅資金計画を進めていただけます。



## ふやす・ためる

### つみたてNISA

「つみたてNISA」は、投資経験のない方も少額から始めていただける資産形成に有効な制度です。

当行では、制度の特性を勘案して、購入時手数料無料かつ低コストで運用できる商品を13ファンド(2021年3月末時点)ご用意し、幅広く制度のご案内をしています。



## そなえる

### 相続個別相談会

「相続個別相談会」を各地で開催しています。相談会では専門家を相談員に招き、お客さまの相続に関するお悩みを個別にご相談いただける機会を提供しています。

2020年度は県内18店舗で開催しました。

相続業務に精通する専門家と連携し、お客さまの相続に関するニーズに幅広くお応えしています。



## 便利につかう

### キャッシュレス決済

2019年4月から取扱いを開始した82 Debit (JCB) は8万枚を発行しご好評をいただいています。このほかにクレジットカード「HaLuCa」や、当行預金口座からの各種QRコード決済へのチャージ等、幅広くキャッシュレス決済にお応えしています。

さらに「八十二銀行アプリ」は、いつでも、どこでも、口座残高や明細をご確認いただけます。



## ～豊かなライフプランの実現をサポート～

### 住宅ローンのご相談

**安心・便利に**住宅ローンをご利用いただけるよう、商品性を改定しました。

### 「元金据置期間」の延長

「元金据置期間」を最長5年に延長しました。マイカーローン等のご返済中の方や産前産後休業・育児休業中の方など、一時的な支出増加または収入減少となる状況にあるお客さまにも安心してお借入れいただけます。



住宅(建物)の完成前に必要資金の全額をお借入れできる「建物完成前一括実行」の取扱いを変更しました。土地および建物への抵当権設定時期を建物完成時とすることで、着工手付金や中間金支払時の手続きがスムーズになり、お客さまのご負担が軽減されます。

### 「建物完成前一括実行」の取扱変更

### 資産づくりのご相談

**投資の第一歩を**踏み出す「きっかけ」としていただける新商品の取扱いを開始しました。

### 「はちののスマイルボンド」シリーズ

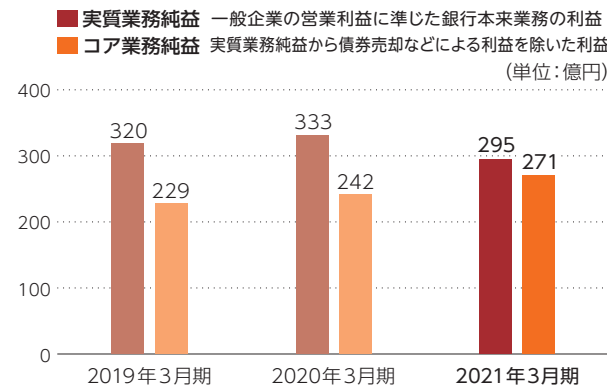
2021年4月から仕組債新商品の取扱いを開始しました。本商品は、「たくさんの人が笑顔になるような商品にしたい」という思いが込められた当行オリジナルの仕組債です。これまで当行が取扱いしてきた仕組債と比べてシンプルな商品性とし、さらに当行収益の一部をSDGs関連団体へ寄付します。

※市場環境等によっては、取扱いできない可能性もございます



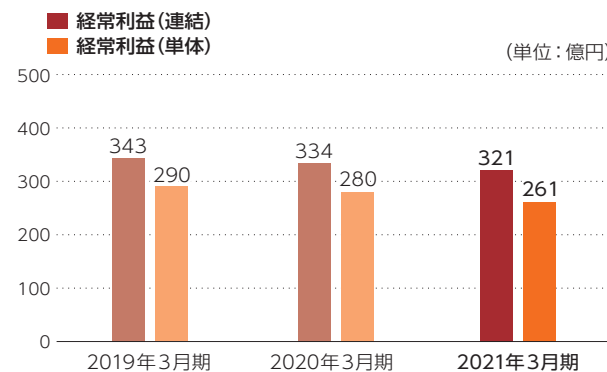
# 業績ハイライト

## 実質業務純益・コア業務純益



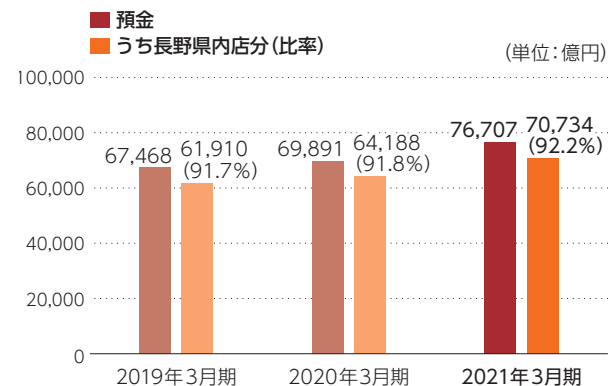
資金利益の増加や経費の減少などによりコア業務純益は271億円(前期比28億円増加)、国債等債券売却益の減少により実質業務純益は295億円(同38億円減少)となりました。

## 経常利益



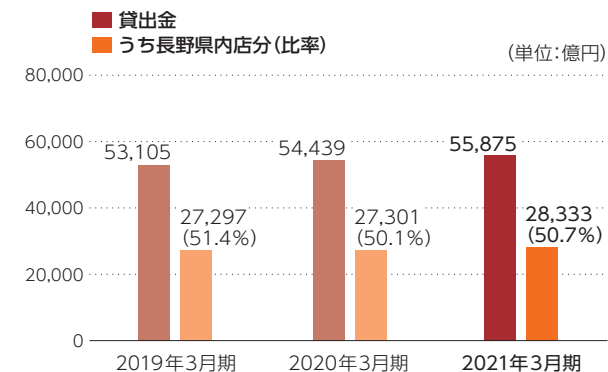
株式売却益などは増加しましたが、実質業務純益の減少や不良債権処理額の増加などにより、単体経常利益は261億円(前期比18億円減少)となりました。

## 預金



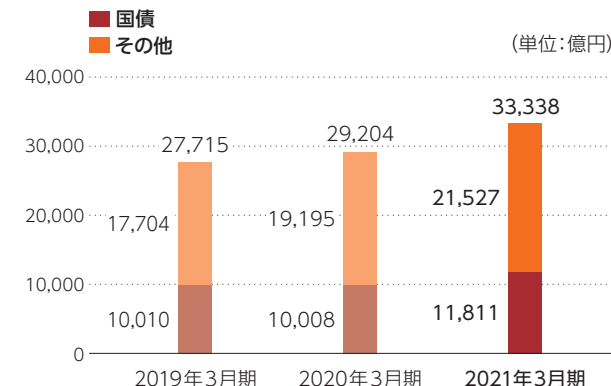
個人預金、法人預金の増加により7兆6,707億円(前期比6,815億円増加)となりました。うち、長野県内店預金は7兆734億円(同6,546億円増加)となりました。

## 貸出金



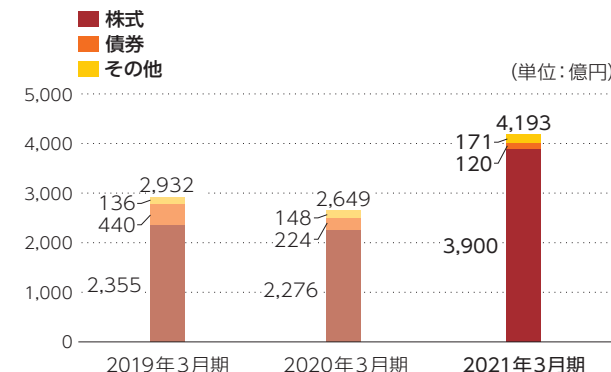
主に県内事業性資金の増加により5兆5,875億円(前期比1,435億円増加)となりました。うち、長野県内店貸出金は2兆8,333億円(同1,031億円増加)となりました。

## 有価証券残高



国債や株式などの増加により3兆3,338億円(前期比4,134億円増加)となりました。

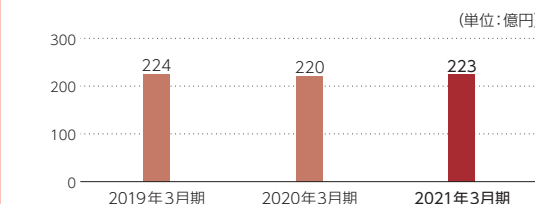
## 有価証券評価損益



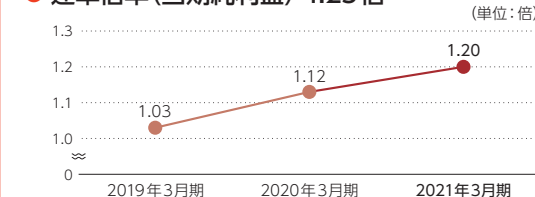
株価の上昇により株式評価益が増加し4,193億円(前期比1,543億円増加)となりました。

## 目標とする経営指標(2021年3月)

### 親会社株主に帰属する当期純利益 250億円

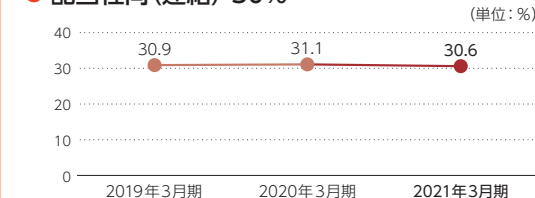


### 連単倍率(当期純利益) 1.25倍



[連単倍率] 親会社の単体決算の利益に対する連結決算の利益の倍率

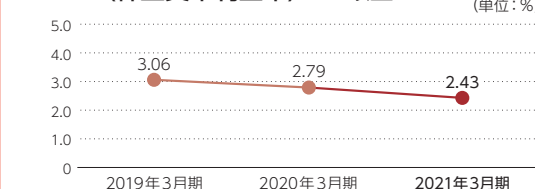
### 配当性向(連結) 30%



[配当性向] 事業活動によって得た利益を、配当としてどの程度株主に還元しているかを示す指標

## 長期的経営指標

### ROE(株主資本利益率) 5%以上

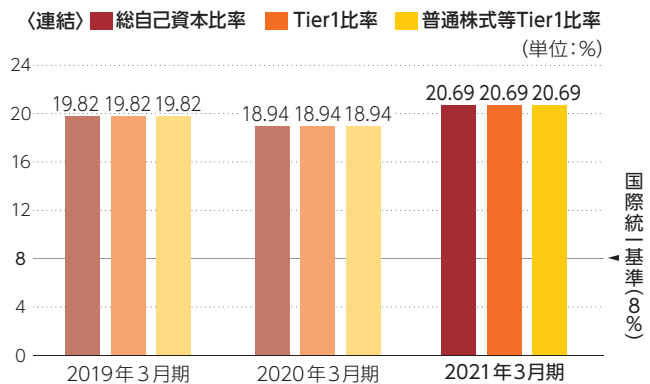


[ROE(株主資本利益率)] 企業の収益性を測る指標

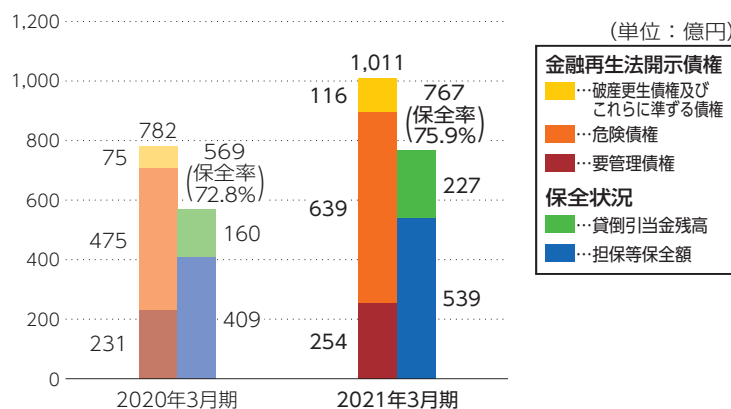
# 経営の健全性

## 連結自己資本比率 (国際統一基準)

自己資本比率は金融機関の健全性を測る指標のひとつです。パーゼルⅢに基づく自己資本比率規制 (国際統一基準) では、総自己資本比率が8%以上必要とされています。当行の総自己資本比率 (2021年3月期)は、連結で20.69%となり、規制水準である8%を大きく上回っています。



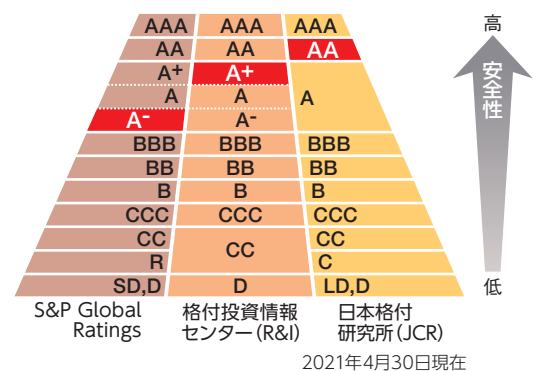
## 金融再生法開示債権と保全状況



(注) 1. 金融再生法開示債権は対象が貸出金のほか、外国為替、支払承諾見返、未収利息、仮払金、保証付私募債となっています。なお、部分直接償却は実施していません。  
2. 上記の開示額は、差入れられた担保などによる回収を考慮していませんので、当行の将来の損失をそのまま表すものではありません。

## 格付

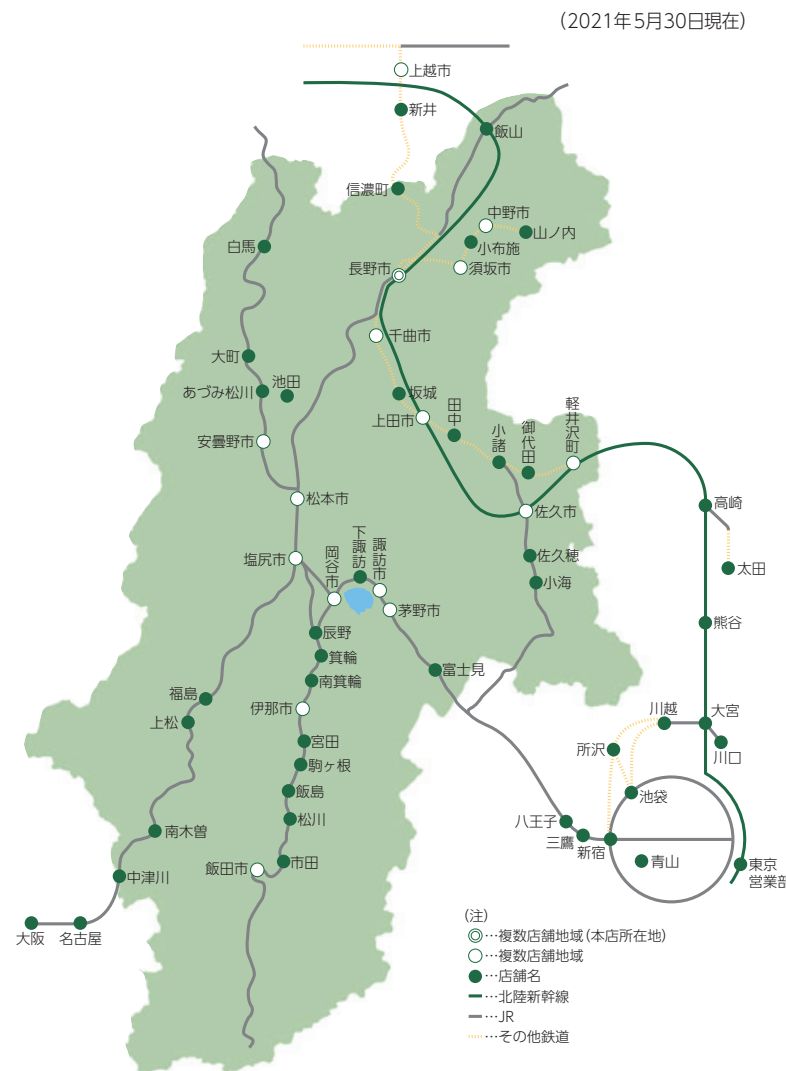
当行は長期格付について、S&P Global Ratingsから「A-」(金融債務を履行する能力は高い)を、格付投資情報センター (R&I) から「A+」(信用力は高く部分的に優れた要素がある)を、日本格付研究所 (JCR) から「AA」(債務履行の確実性は非常に高い)の格付を取得しており、当行に対する高い評価を示しています。



	2020年3月期	2021年3月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	75 (0.13%)	116 (0.20%)
危険債権	475 (0.85%)	639 (1.12%)
要管理債権	231 (0.41%)	254 (0.44%)
小計	782 (1.41%)	1,011 (1.78%)
正常債権	54,508	55,780
総与信残高	55,291	56,791

( )内は、総与信残高に占める比率

# 営業拠点のご案内



## 複数店舗地域一覧

- ◎長野市  
本店営業部、長野、県庁内、大門町、昭和通営業部、長野駅前、長野東、七瀬、吉田 (三才 [出])、長野南、長野北、東和田、長野市役所、浅川若槻、朝陽、風間、安茂里、豊野、新町、若穂、南長池、更北、川中島、松代、篠ノ井、今井、ローンプラザ昭和通、ローンプラザ浅川若槻、ローンプラザ今井
- 須坂市  
須坂 (須坂駅前)、須坂市役所 [出]
- 中野市  
中野 (中野西)
- 千曲市  
屋代、稻荷山、上山田、戸倉
- 上田市  
上田、上田市役所 [出]、花園 [出]、上田東、丸子、三好町 (川西)、塩田、神科 (真田)、ローンプラザ上田東
- 軽井沢町  
中軽井沢、軽井沢
- 佐久市  
岩村田、佐久市役所 [出]、野沢 (中込)、佐久中央、臼田、望月、ローンプラザ佐久中央
- 松本市  
松本営業部 (清水 [出])、松本市役所 [出]、松本駅前 (深志)、南松本 (平田)、村井、寿、信州大学前、惣社、西松本、笹賀、つかま、浅間温泉、波田、梓川、ローンプラザ南松本
- 安曇野市  
明科、三郷、豊科、穂高、ローンプラザ安曇野
- 塩尻市  
塩尻、塩尻西、広丘、ローンプラザ広丘
- 岡谷市  
岡谷、岡谷市役所 [出]、長地
- 諏訪市  
諏訪 (上諏訪駅前)、諏訪南、ローンプラザ諏訪南
- 茅野市  
茅野、茅野駅前
- 伊那市  
伊那、伊那市役所 [出]、伊那市駅前、伊那北、高遠、ローンプラザ伊那
- 飯田市  
飯田、飯田駅前、伝馬町、八幡 (飯田東)、天竜峡、上郷、鼎、伊賀良、ローンプラザ伝馬町
- 上越市  
高田、直江津、潟町、ローンプラザ上越

## 海外拠点

香港支店、上海駐在員事務所、バンコク駐在員事務所、シンガポール駐在員事務所

## 2021年3月期 連結決算の状況

## 連結貸借対照表 (2021年3月31日現在)

(単位:百万円)		(単位:百万円)	
科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	2,753,959	預金	7,654,318
コールローン及び買入手形	30,000	譲渡性預金	139,665
買入金銭債権	98,202	コールマネー及び売渡手形	676,745
特定取引資産	12,157	売現先勘定	77,627
金銭の信託	80,015	債券貸借取引受入担保金	784,779
有価証券	3,326,241	特定取引負債	3,066
貸出金	5,541,154	借入金	1,639,118
外国為替	34,417	外国為替	1,330
リース債権及びリース投資資産	69,989	その他負債	104,351
その他資産	141,736	退職給付に係る負債	11,667
有形固定資産	33,778	睡眠預金払戻損失引当金	823
無形固定資産	4,747	偶発損失引当金	1,316
退職給付に係る資産	42,139	特別法上の引当金	12
繰延税金資産	2,023	繰延税金負債	120,695
支払承諾見返	35,424	支払承諾	35,424
貸倒引当金	△ 45,351	<b>負債の部合計</b>	<b>11,250,943</b>
		<b>(純資産の部)</b>	
		資本金	52,243
		資本剰余金	59,181
		利益剰余金	492,869
		自己株式	△ 11,629
		<b>株主資本合計</b>	<b>592,665</b>
		その他有価証券評価差額金	294,333
		繰延ヘッジ損益	4,426
		退職給付に係る調整累計額	14,594
		<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>313,354</b>
		新株予約権	272
		非支配株主持分	3,402
		<b>純資産の部合計</b>	<b>909,694</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>12,160,638</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>12,160,638</b>

## 連結損益計算書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

(単位:百万円)	
科目	金額
経常収益	153,969
資金運用収益	77,797
(うち貸出金利息)	(43,276)
(うち有価証券利息配当金)	(32,403)
信託報酬	2
役員取引等収益	21,186
特定取引収益	3,360
その他業務収益	40,649
その他経常収益	10,972
経常費用	121,821
資金調達費用	6,863
(うち預金利息)	(928)
役員取引等費用	7,329
その他業務費用	34,033
営業経費	59,021
その他経常費用	14,573
経常利益	32,147
特別利益	31
特別損失	364
税金等調整前当期純利益	31,815
法人税、住民税及び事業税	11,684
法人税等調整額	△ 2,394
法人税等合計	9,290
当期純利益	22,524
非支配株主に帰属する当期純利益	140
親会社株主に帰属する当期純利益	22,384

八十二銀行グループ	●八十二スタッフサービス(株)(労働者の派遣・紹介業務)
	●八十二証券(株)(有価証券の売買等)
	●八十二信用保証(株)(信用保証業務)
	●やまびこ債権回収(株)(債権管理回収業務)
	●八十二リース(株)(リース業務)
	●(株)八十二カード(クレジットカード業務)
	●八十二システム開発(株)(システム開発)
	●八十二キャピタル(株)(投資業務)
	●八十二オートリース(株)(リース業務)

## 2021年3月期 単体決算の状況

## 貸借対照表 (2021年3月31日現在)

(単位:百万円)		(単位:百万円)	
科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	2,731,771	預金	7,670,775
コールローン	30,000	譲渡性預金	160,715
買入金銭債権	98,202	コールマネー	676,745
特定取引資産	12,157	売現先勘定	77,627
金銭の信託	80,015	債券貸借取引受入担保金	784,779
有価証券	3,333,897	特定取引負債	3,066
貸出金	5,587,528	借入金	1,632,343
外国為替	34,417	外国為替	1,330
その他資産	119,962	その他負債	73,389
有形固定資産	25,528	退職給付引当金	10,235
無形固定資産	4,601	睡眠預金払戻損失引当金	823
前払年金費用	20,264	偶発損失引当金	1,316
支払承諾見返	35,424	繰延税金負債	113,631
貸倒引当金	△ 38,741	支払承諾	35,424
		<b>負債の部合計</b>	<b>11,242,205</b>
		<b>(純資産の部)</b>	
		資本金	52,243
		資本剰余金	32,563
		資本準備金	29,609
		その他資本剰余金	2,954
		<b>利益剰余金</b>	<b>462,238</b>
		利益準備金	47,610
		その他利益剰余金	414,628
		固定資産圧縮積立金	869
		別途積立金	388,600
		繰越利益剰余金	25,158
		自己株式	△ 11,629
		<b>株主資本合計</b>	<b>535,415</b>
		その他有価証券評価差額金	292,709
		繰延ヘッジ損益	4,426
		評価・換算差額等合計	297,136
		新株予約権	272
		<b>純資産の部合計</b>	<b>832,824</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>12,075,029</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>12,075,029</b>

## 損益計算書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

(単位:百万円)	
科目	金額
経常収益	112,952
資金運用収益	77,701
(うち貸出金利息)	(43,302)
(うち有価証券利息配当金)	(32,331)
信託報酬	2
役員取引等収益	17,504
特定取引収益	133
その他業務収益	6,887
その他経常収益	10,722
経常費用	86,800
資金調達費用	6,829
(うち預金利息)	(929)
役員取引等費用	9,617
その他業務費用	3,893
営業経費	52,596
その他経常費用	13,863
経常利益	26,152
特別利益	31
特別損失	328
税引前当期純利益	25,855
法人税、住民税及び事業税	9,646
法人税等調整額	△ 2,308
法人税等合計	7,338
当期純利益	18,517



# 株式のご案内

- 証券コード 8359
- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
- 1単元の株式数 100株
- 単元未満株式の買取・買増制度 単元未満株式(1~99株)について、買取制度および買増制度を実施しております。単元未満株式が証券会社等の口座に記録されている場合はお取引口座のある証券会社等に、また、特別口座に記録されている場合は右記までお問い合わせください。
- 配当金 期末配当金は定時株主総会終了後、中間配当を行う場合は、取締役会の決議により、それぞれ期末配当金・中間配当金基準日の株主等にお支払いいたします。
- 基準日 定時株主総会:3月31日 期末配当金:3月31日  
中間配当金:9月30日  
そのほか必要があるときは、基準日をあらかじめ公告いたします。
- 公告方法 電子公告により当行ホームページに掲載いたします。  
公告掲載URL <https://www.82bank.co.jp/>  
(事故等やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、信濃毎日新聞及び日本経済新聞に掲載いたします。)

## ■株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
お問い合わせ先 郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日綱町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間/9:00~17:00 (土・日・祝日及び12/31~1/3を除く) [郵送先] 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の全国各支店におきましてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## お電話でのお問い合わせ・ご相談

八十二のハローはちに 音声ガイダンスにより操作してください。  
電話 **0120-82-8682** (通話料無料) ★携帯電話からもご利用いただけます。

- ◆商品・サービスに関するお問い合わせ・ご相談  
サービス内容により受付時間が異なります。
- ◆当行へのご意見・ご要望・苦情(お客さま相談室)  
受付時間/9:00~17:00  
(土・日・祝日及び12/31~1/3を除く)
- ◆金融円滑化相談時の苦情(金融円滑化苦情窓口)  
受付時間/9:00~17:00  
(土・日・祝日及び12/31~1/3を除く)

銀行に関するさまざまなご相談やご照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付けるための窓口(金融分野における裁判外紛争解決制度)

### ■全国銀行協会相談室

電話 0570-017109 または 03-5252-3772  
受付日/月~金曜  
(祝日及び銀行の休業日を除く)  
受付時間/9:00~17:00

### ■証券・金融商品あっせん相談センター

電話 0120-64-5005  
受付日/月~金曜  
(祝日及び銀行の休業日を除く)  
受付時間/9:00~17:00

### ■信託協会信託相談所

電話 0120-817-335 または 03-6206-3988  
受付日/月~金曜  
(祝日及び銀行の休業日を除く)  
受付時間/9:00~17:15



2021年6月発行/編集:八十二銀行 企画部

〒380-8682 長野市大字中御所字岡田178番地8 電話(026)227-1182

<https://www.82bank.co.jp/>



この印刷物は、環境に配慮した  
植物性インキを使用しています。



ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C008865